

2016年11月21日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Cisco IOS ソフトウェアに関する脆弱性について

Cisco IOS ソフトウェアの CIP(Common Industrial Protocol) 機能に脆弱性が存在する事が判明しました。この脆弱性を利用して、未承認のリモート攻撃者により機器の再起動などが引き起こされ、サービス拒否 (DoS) 状態となる可能性があります。

■脆弱性の詳細情報

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160928-cip>

■対象製品

CIP メッセージ処理が有効となっている IOS ソフトウェア製品全般

通常、CIP 機能は無効 (disable) となっているため、以下のコマンドを実行しステータスを確認してください。

```
router#show running-config | include cip enable  
cip enable ←有効となっています。
```

■対象ソフトウェアバージョン

対象バージョンのリストは公開されていないので、下記 Tool を使って使用の有無を確認してください。

Cisco IOS Software Checker

<http://tools.cisco.com/security/center/selectIOSVersion.x>

■対処方法

修正ソフトウェアへのバージョンアップを行ってください。

修正ソフトウェアのバージョンは Cisco IOS Software Checker の実行結果に従い判断してください。

■修正ソフトウェアの入手方法

以下のサイトから入手可能です（事前にアカウント登録必要）

<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

お問い合わせは、弊社担当営業までお願いいたします。

以 上